

北神戸キリスト教会子供のメッセージ

2023年7月16日(日)

袴田清子

序

今日の聖書のお話は、光君もよく知っている、主イエスさまが嵐を鎮められた時のお話です。

嵐と命の危機

主イエスさまが説教のご奉仕を終えて、舟にのって、湖の向こう岸に渡ろうとされた時、とても激しい嵐が起きました。舟は波をかぶって水浸し、右に左に大きく揺れて、漁師出身者が多い弟子達でさえ、命の危険を感じて叫び出す始末でした。

眠っておられた主イエス

しかし、この大騒ぎの間、主イエスさまは、舟の後ろの方にある仮眠をとる場所で、枕をして眠っておられたのです。イエスさまは、何時間も大勢の人を相手に教えておられたので、とても疲れておられたようです。

非難の叫び、滅びても…

弟子達は、この大嵐に遭って、主イエスを起こして主イエスに叫んでいます。「先生、わたしたちがおぼれてもかまわないのですか？」この言葉は実は「わたしたちが滅んでもかまわないのですか？」という言葉なのです。もちろん主イエスはちゃんと知っておられますし、私たちが滅びないように、この地上に来てくださったのです。

嵐に対する主イエスの命令

しかし、弟子たちは、目の前の恐ろしい嵐に恐れをなして、主イエスを非難してしまいました。主イエスは起き上がり、風を叱り、湖に命令されました。「黙れ」「静まれ」。すると、ピタッと風はやみ、湖はシーンと静かになったのです。

主イエスに対する大きな恐れ

このことに、今度は、弟子たちはとても大きな恐れを感じました。そして、「このお方は、いったいどなたなのだろう？風や湖さえも、従うではないか！」と口々に言ったのです。

神様だけが自然を制される、宇宙的な神様

自然に対してこのように命令して、言うことを聞かせることができるのは、それらを造り、保っておられる大いなる神様だけです。旧約聖書の沢山の箇所、神様だけが自然界や宇宙を支配しておられると書かれています。その中でも詩編の107編には主なる神様が嵐に働きかけて沈黙させられたことが書かれています。主イエスは宇宙的な意味でも神様なのですね。

信頼できる、主から離れない

私たちの信じている主イエスは、このように偉大な権威をもっておられる御方なので、どんなときにも信頼し、主から離れずに歩んで行けばよいのです。お祈りします。

祈り

主イエス様、尊いお名前を賛美します。主イエス様が、宇宙的な広がりの中で、生ける支配者であられることを学びました。どうか、いつもあなたを認め、寄り縋り、信頼し、主と共に歩んで行くことができますように、御導きください。主イエス様のお名前を通してお祈りします。アーメン。